

東芝電動昇降吊戸棚 設置工事説明書

形名 BUC-AD90Aタイプ(食器乾燥庫)
BUC-AS90Aタイプ(収納棚)
BUC-AM90Aタイプ(水切棚)

安全上のご注意

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

	警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例

下に示す記号は、説明書や製品に表示して、使用者に注意を促すための記号です。
書かれている内容を注意深くお読みください。

	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、中や近くに絵や文章で示します。
	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、中や近くに絵や文章で示します。
	注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、中や近くに絵や文章で示します。

警告	
据付工事は専門業者に依頼すること ご自分で据付け工事をされ、不備があった場合、感電や火災の原因となります。	専門業者
設置工事説明書をよく読み正しく確実に工事すること 不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因となります。	よく読め
ガス器具から15cm以上離して設置すること 製品の熱変形や火災の原因になりますので充分注意してください。	ガス器具から15cm以上離す
壁の強度と補強棧の位置を確認すること 取付ける前に、壁の構造・補強棧の位置を確認してください。 十分な強度がないと、落下事故などの原因になります。	強度確認
本体は壁に確実に固定すること 取付けが不十分な場合、本体の落下の原因となります。	確実に固定
ねじはゆるまないよう、最後まで確実に固定する 不十分だと本体のガタツキや故障の原因になります。	確実に固定
電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼すること ご自分で配線工事をされ不備があると、感電や火災の原因になります。	専門業者へ依頼
定格15A以上の専用回路を使用すること	専用回路を使用
交流100Vで使用する 火災・感電の原因となります。	交流100V
電源コードは確実に接続すること 接続が不十分だと、異常発熱の原因になります。	確実に接続
電源コードを傷付けたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、 また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないこと 電源コードが破損し火災・感電の原因となります。	禁止
アース工事を必ず行うこと アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。	アース工事
扉を無理に開けないこと 扉は耐震ロックされていますので少ししか開きません。 扉は収納部の下降動作と連動して開きますので、無理に開けますと故障の原因となります。	禁止

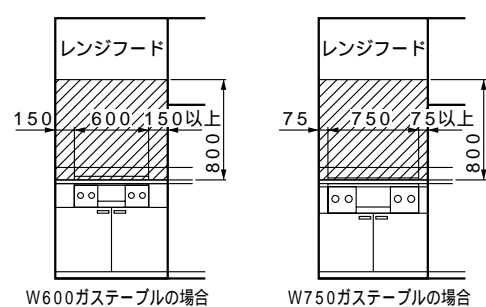
注意	
本体が施工金具からはずれて落下しないように注意すること	
本体は斜めになっていないか確認すること 斜めになっていると、動作不良や故障の原因になります。	斜めに取付けない

1 はじめに（工事される方へのお願い）

（単位：mm）

設置工事は、必ず二人以上で行ってください。
設置工事の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
設置前に電気配線工事が必須です。あらかじめ行ってください。
電気配線工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規程」に準じ、電気工事登録業者に依頼して施工してください。
この設置工事説明書は必ずお客様にお渡しください。

設置前の確認



W600ガステーブルの場合

W750ガステーブルの場合

火災予防条例（東京都）では、左図の斜線内に可燃物があるとはならないと規定されています。斜線内には設置しないでください。なお、これ以上に規制されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。
昇降部分の下に物が設置されないことを確認してください。
下部に加熱機器（ガス、電気器具等）が設置されない場所であることを確認してください。

同梱部品の確認

設置工事をされる前に、商品の損傷がないこと、同梱部品がそろっていることを確認してください。
ご使用時に必要な付属品は庫内に入っています。また、取付け時に必要な付属品は本体天井面にセットされています。
扉は耐震ロックが働いていますので少ししか（約5cm）開きません。これ以上無理に開けないでください。

ご使用時に必要な付属品				
食器かご(上)	食器かご(下)	はし立て		
1ヶ	1ヶ	1ヶ		
水受皿	フィルター・フィルターカバー	取扱説明書		
1ヶ	各1ヶ	1冊		
取付け時に必要な付属品（梱包の箱に入っております）				
施工金具	施工金具取付ねじ	本体固定ねじ・ワッシャ	連結ねじ・化粧キャップ	設置工事説明書
1ヶ	5x50mm 5本	4.5x63mm 4本	4枚	各4ヶ

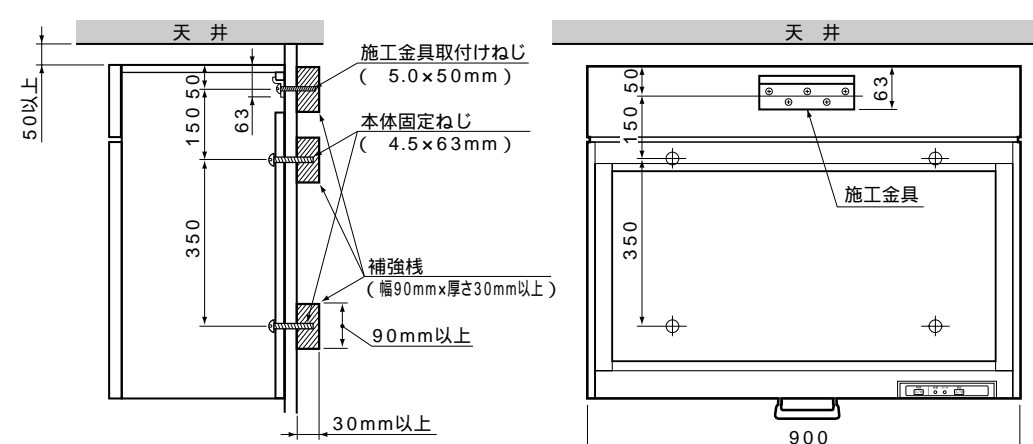
ご使用時に必要な付属品				
ガイドバー	取扱説明書			
1ヶ	1冊			
取付け時に必要な付属品（梱包の箱に入っております）				
施工金具	施工金具取付ねじ	本体固定ねじ・ワッシャ	連結ねじ・化粧キャップ	設置工事説明書
1ヶ	5x50mm 5本	4.5x63mm 4本	4枚	各4ヶ

ご使用時に必要な付属品				
食器かご(上)	食器かご(下)			
1ヶ	1ヶ			
はし立て	水受皿	取扱説明書		
1ヶ	1ヶ	1冊		
取付け時に必要な付属品（梱包の箱に入っております）				
施工金具	施工金具取付ねじ	本体固定ねじ・ワッシャ	連結ねじ・化粧キャップ	設置工事説明書
1ヶ	5x50mm 5本	4.5x63mm 4本	4枚	各4ヶ

据付ける前に上記部品がそろっているかどうかを必ず確認してください。

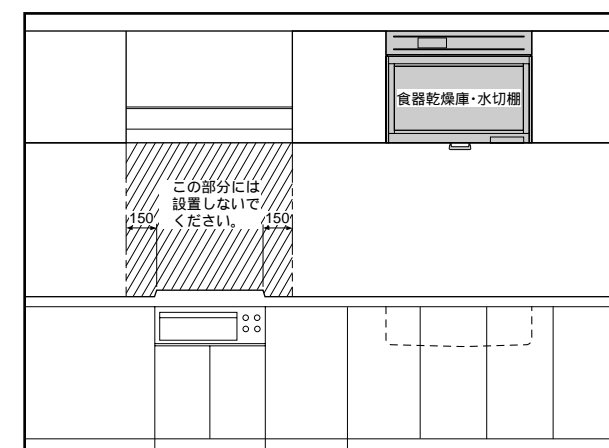
取付け場所の確認

取付け壁面の構造および強度



庫内に収納物を入れると、総質量は約70kgとなります。
補強棧の位置および強度を確認し、不具合があれば修正してください。

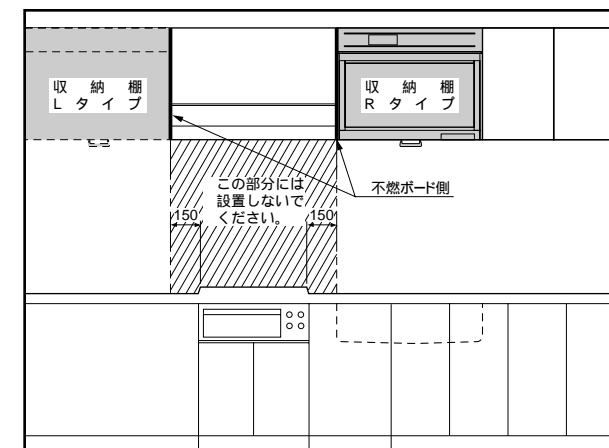
取付け場所



ガスコンロ、電気コンロ等の加熱機器や、湯沸器等から150mm以上離して設置してください。（幅600ガスコンロの場合）

食器乾燥庫、水切棚の場合

側面は不燃仕様になっていませんのでレンジフードと隣接して取付けしないでください。



収納棚の場合

形名末尾がRとLの2タイプがあります。
レンジフードの右側に取付ける場合はRタイプ、左側に取付ける場合はLタイプを必ず使用のこと。

不燃ボードを使用しているのはキャビネットの右または左のどちらか一方の側面です。

窓枠について	窓枠	サッシ等の窓枠の出っ張り寸法は20mm以下にしてください。収納部を下降させるときに、当たる恐れがあります。
	20mm 窓枠 30mm	

取付け荷重について

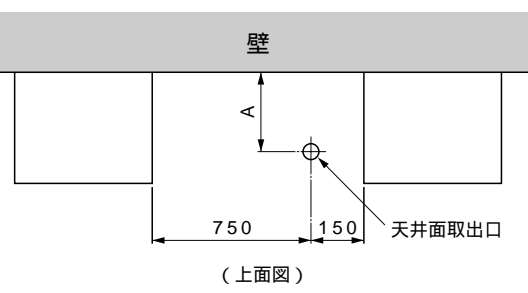
製品を取り付けると、壁面にかかりの負担がかかります。
下記に注意しながら取り付けてください。
製品庫内に収納物を入れると、総質量は約70kgとなりますので、取付け強度は総質量の3倍を目安としてください。

2 据付けの前に

（単位：mm）

電気配線

電気配線（AC100V）、アース線の取出位置



天井面の左記の位置に取出口を設け、ここから電源ケーブルおよびアース線を約1m引出します。
各タイプ、キャビネットの奥行寸法によって左図のA寸法が異なります。下記表に従って電源ケーブルおよびアース線の取出口を設けてください。

キャビネット奥行	A寸法	キャビネット奥行寸法は扉の厚みを含みません。
350の場合	260	
370の場合	280	

接地工事

漏電による感電事故を防止するために、必ずアースを設けてください。
アース工事は、電気工事士の有資格者がD種（第三種）接地工事するよう法令で定められています。
アースは他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管への接続は危険ですので絶対におやめください。
接地工事終了後は必ず接地抵抗を確認してください。

漏電しゃ断器の設置

万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。
接地工事および漏電しゃ断器の設置は、「電気設備技術基準」および「内線規程」に従ってください。

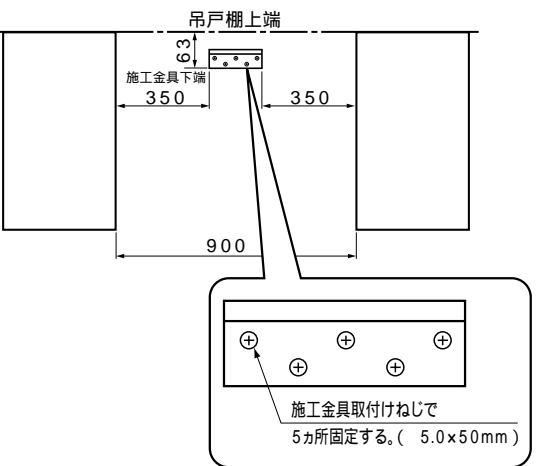
3 据付け工事 (各機種共通)

補強棧の位置、強度は十分かどうか確認してください。(単位: mm)
電源ケーブル、アース線の取出口は指定の位置にあるか確認してください。

1 本体の取付け

扉は耐震ロックが働いていますので少ししか(約5cm)開きません。これ以上無理に開けないでください。本体底面についている箱パッドは必ずつけたままにしてください。

1 施工金具の取付け



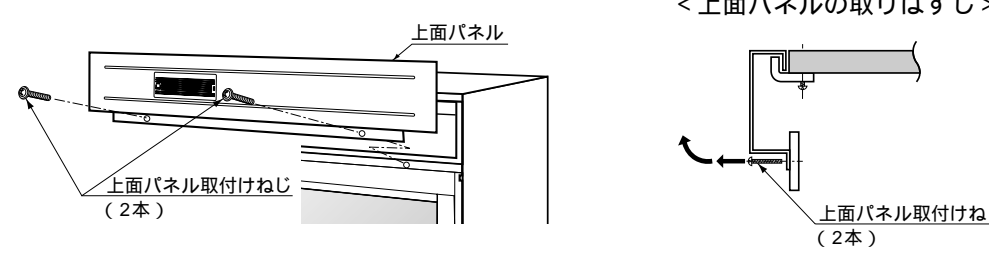
注意
施工金具は水平に取付けること
水平になっていないと本体が斜めになります

付属の施工金具取付ねじで、施工金具を壁面に固定します。

水平に取付ける

2 本体の取付け
上面パネルの取りはずし
取付けねじをはずし、上面パネルを取り外します。

<上面パネルの取りはずし>



施工金具への取付け
本体を施工金具に確実に引掛けます。
なお、取付けが終わりましたら、底面の箱パッドをはずします。

警告
本体が施工金具に確実に取付けられていることを確認すること
引掛けが不十分だと落下の原因となります。

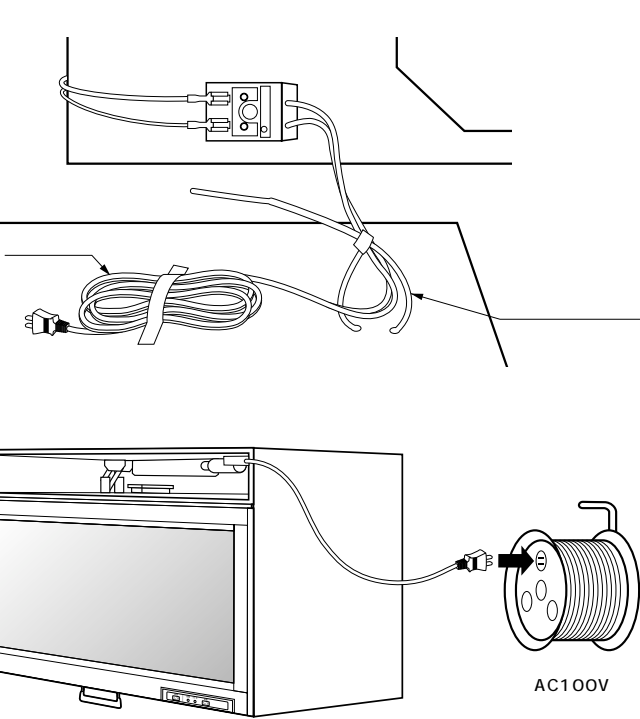
確実に引掛ける

3 仮設コードの取付け

上面パネル部に収納されている仮設コードを取り出します。

このナイロンバンドは電源コードの固定に使用しますので切らないでください。

仮設コードのプラグを電源コード(AC100V)に接続します。

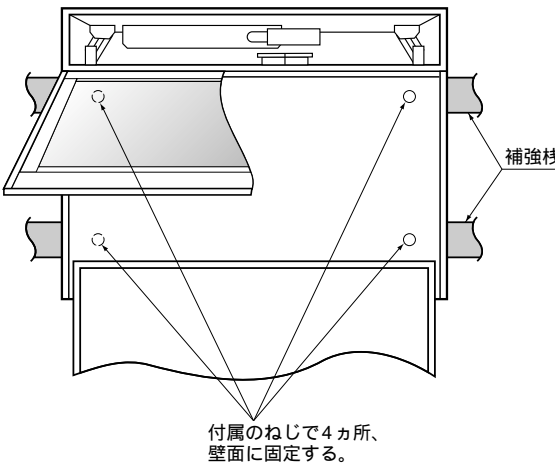


4 昇降動作の確認

操作レバーを下げて収納部の下降を確認します。
下端まで下降すると、自動的に停止します。また、レバーから手を離すと下降を停止します。
扉は、収納部の下降動作に連動して開きます。操作レバーを上げて収納部の上昇を確認します。
上端まで上昇すると自動的に停止します。また、レバーから手を離すと上昇を停止します。上端まで上昇したときに、扉が閉まることを確認します。

5 本体の固定

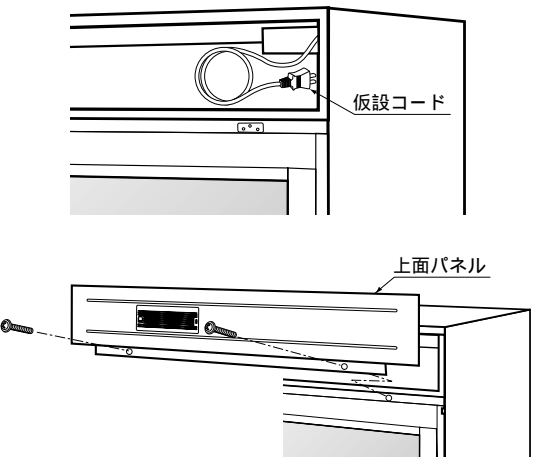
本体を付属のねじ(4.5x63mm、ワッシャ付)で壁に固定します。ねじは壁に密着するまで確実に固定してください。



6 仮設コードの収納

電源プラグを抜き、仮設コードを束ねて本体内に収納する。(仮設コードは電気工事では取りはずします)

上面パネルを取付け(仮止め)ます。



2 電気配線

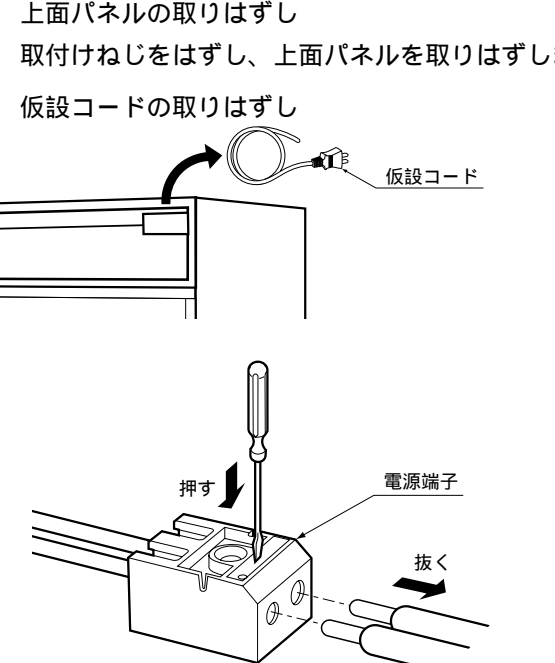
元電源(ブレーカ)が「OFF」になっていることを確認のこと。

1 上面パネルの取りはずし
取付けねじをはずし、上面パネルを取りはずします。
仮設コードの取りはずし

電源端子部から仮設コードを取りはずします。取りはずした仮設コードは破棄してください。

電源端子

ドライバーで左図の部分を押しながら取りはずします。(無理にコードを引っ張らないでください。)



2 電源コード、アース線の接続

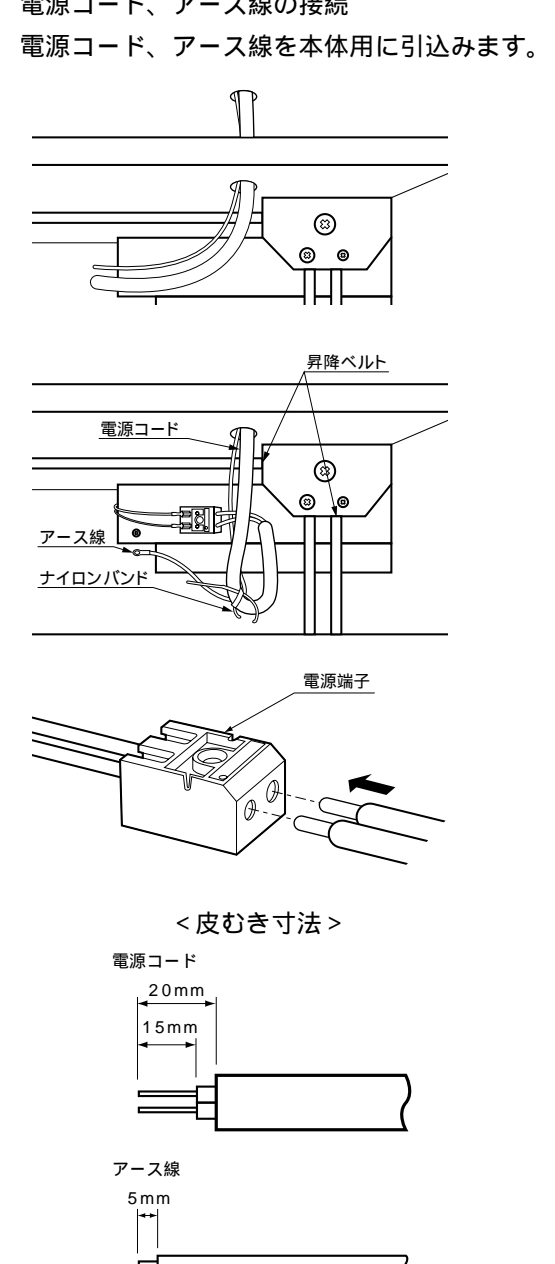
電源コード、アース線を本体用に引込みます。

警告
電源コードやアース線が昇降ベルトの金属部品の端面に触れないこと
コードが傷付き火災や感電の原因となります。

電源コード、アース線をナイロンバンドで固定します。なお、電源コード、アース線が長い場合はカットしてください。

電源コードはVVFケーブル(1.6または2.0)を使用し、被覆部まで確実に差し込んでください。
接続後、コードを引っ張って接続が確かかどうか確認してください。
アース線は先端に4mmねじ用の丸形圧着端子をつけ、ゆるまないようナットで確実に締め付けてください。

<アースの接続>



<皮むき寸法>

電源コード: 20mm (絶縁剥き), 15mm (絶縁剥き)

アース線: 5mm (絶縁剥き)

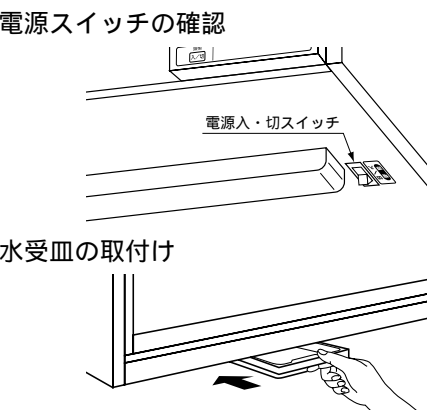
3 上面パネルの取付け
取りはずし方と逆の手順で取付けてください。

3 工事完了後の確認 (試運転)

元電源(ブレーカ)が「ON」になっていることを確認してください。

1 電源スイッチの確認
電源入・切スイッチが「入」になっていることを確認する。

水受皿の取付け
付属の水受皿を取付ける。

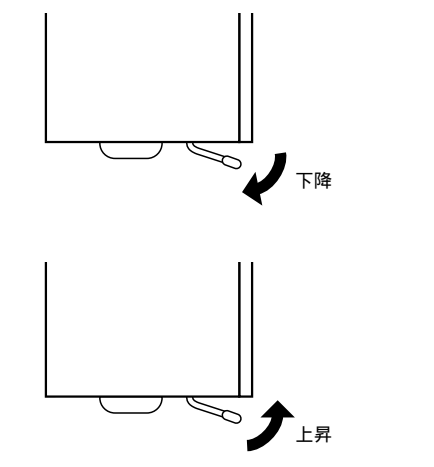


2 取付け状態の確認
製品の取付けにグラツキのないことを確認する。

3 昇降動作の確認

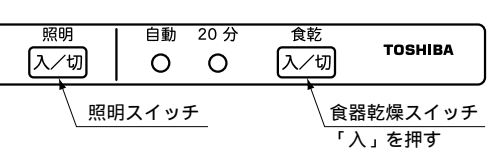
下降動作
操作レバーを下げると、収納部が下降する。レバーから手を離すと、下降動作が停止する。下端まで下降すると自動的に下降が停止する。下降動作と連動して扉が開く。

上昇動作
操作レバーを上げると、収納部が上昇する。レバーから手を離すと、上昇動作が停止する。上端まで上昇すると自動的に上昇が停止する。上昇動作と連動して扉が閉まる。上昇時、途中で上昇速度が遅くなりますが異常ではありません。

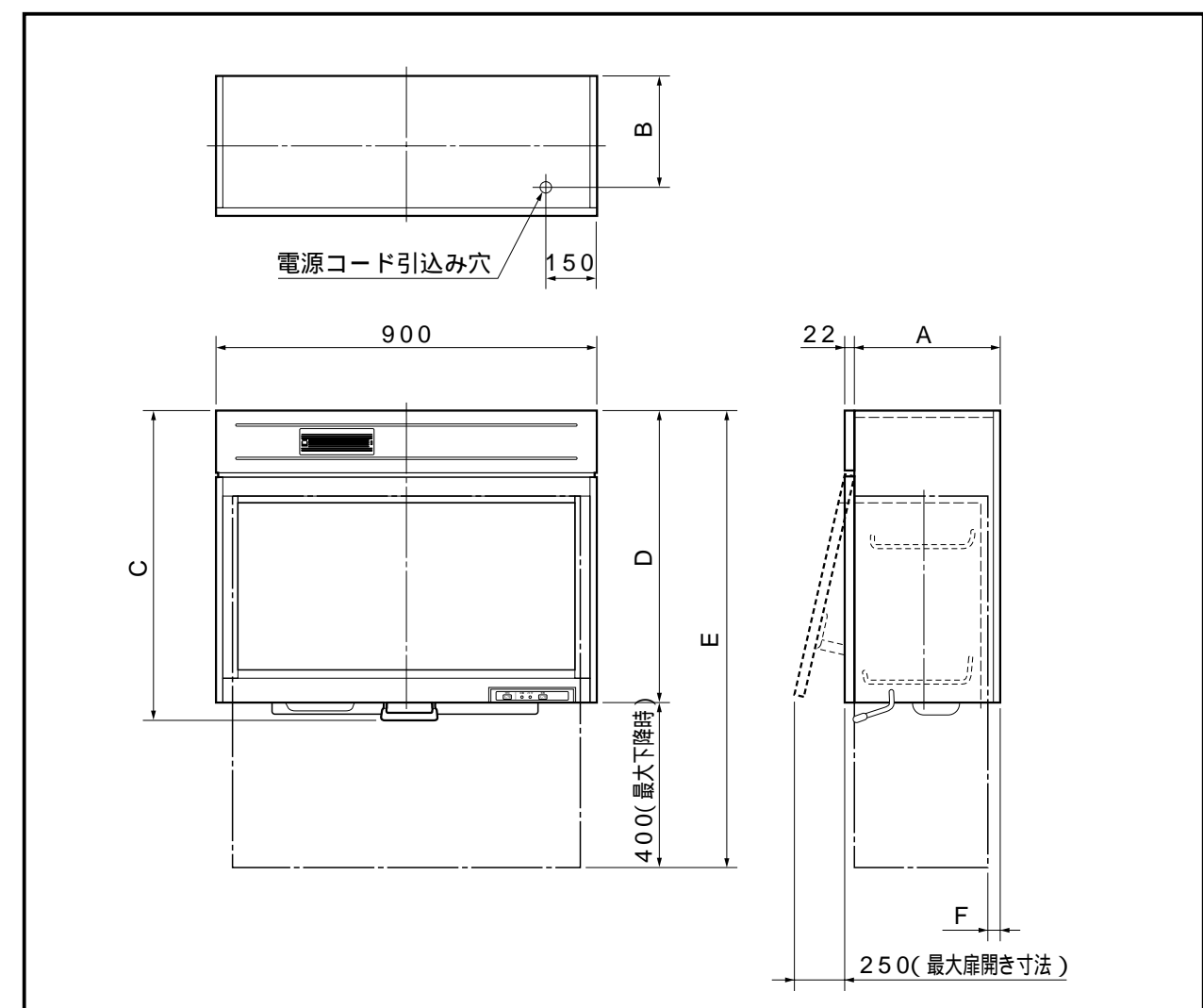


4 照明の確認
蛍光管が付いていることを確認する。操作パネルの照明スイッチを「入」にし、点灯することを確認する。(蛍光灯カバーは、カバーの後ろにある化粧ねじをはずして取りはずします。)

食器乾燥庫について(収納棚、水切棚は除く)操作パネルの「食乾」スイッチの「入」を押し、乾燥運転を行うことを確認する。(上部の吹出口から温風が出ることを確認する)



外形寸法 (単位: mm)



形名	記号寸法	A	B	C	D	E	F
BUC-AD90A50タイプ BUC-AM90A50タイプ BUC-AS90A50タイプ		350	260	743	700	1100	40
BUC-AD90A70タイプ BUC-AM90A70タイプ BUC-AS90A70タイプ		370	280	753	710	1110	60

株式会社 東芝 家電機器社 HAクリエーション部
〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1 (東芝ビルディング)